

## 岩高短歌～ワタシタチノウタ～の指導実践

宮城県岩出山高等学校

### 1.ねらい

季節や学校行事, 地域行事の表題に沿って全生徒・全職員が短歌を詠み, 日常の発見を言葉で奏でる。自己の思考を形にすることと, 他者の考えに触れることで発信・受容体験の場とする。

### 2.実施期間 年間を通して実施(月毎の題材に沿って作成)

### 3.参加者 岩出山高校 全学年生徒・全職員

### 4.活動内容等

| 活動           | 内容【場面】  | 重点指導事項   |  |
|--------------|---|--|--|
|              |   | 3つの視点<br>「かかわる」・「もとめる」・「はたす」   | 具体的能力  |
| ① 岩高短歌入門     | ○短歌集や過去の月間入賞一覧を読み, 短歌について知る。<br>○言葉の組み合わせで体験や感情を表現できることを知る。<br>【国語】     | <かかわる><br>○短歌を詠むことで自分の高校生活を形に残すことができること, 全校での取り組みであることを学ぶ。<br>○他者の創意工夫をこらした表現や言い回しを知ることで多様な感性に触れる。       | 【自己理解】<br>自己の持つ「ことば」と他者の作品の「ことば」の働きについて違いを感じたり共感したりする。   |
| ② 短歌を詠む      | ○日常感じる季節の変化や学校行事, 地域行事への参加について短歌を一首詠む。<br>【国語, 行事】                      | <もとめる><br>○体験活動を元に短歌を詠むことで自己の感受性を歌に落とし込む。  | 【体験学習・振り返り】<br>自己の体験に基づき言葉選びをすることで明確なイメージを持って体験の振り返りをする。   |
| ③ 発表披露・掲示    | ○月間賞一覧を発表・掲示し, 全生徒に配布する。月間優秀賞は同窓生により墨書していただき, 額入りで校内掲示する。<br>【クラス・校内掲示】 | <はたす><br>○互いの短歌を鑑賞することで多様な感性に触れ, 同時に自己の内省を深める。   | 【共感・受容力・自己肯定】<br>日常生活を共にする生徒の「ことば」から得られる日常美と感性を受け止め, 他者の個性を受容し, 自己受容感・自己肯定感を持つ。  |
| ③ 岩高短歌集製本・配布 | ○岩高短歌集「～ワタシタチノウタ～」の作成・製本・配布<br>→全生徒・全職員配布<br>→各小中学校, 県内外の関係各所への寄贈・配布    | <かかわる><br>○それぞれの短歌が1つの作品を生み出すことで成果物として多くの人に読んでいただく。<br><もとめる><br>○さまざまな表現に触れることで日本語の美しさと多様な感性の素晴らしさを感じる。 | 【職業観・勤労観】<br>全生徒・全職員で取り組むことが大作を生むこと, それが伝統として引き継がれていることを経験する。1・2年生は次年度への取り組みが内発的動機付けされ, 3年生は個人の取り組みが所属集団の力になることを実感する機会となる。 |

## 5. 成果と課題

(1) 成果 岩高短歌は平成19年から始まり、現在15年目を迎えた取り組みである。今年度は短歌集のデザインを美術部の生徒により刷新した。月間優秀作品は同窓生の方に墨書していただき、校内に額入りで掲示している。コロナ禍で行事が中止・縮小されることもあったが、日常を言葉にすることで日本語美を作り出し、学年の枠を越え、共有することができた。また、今年度は2学年の修学旅行が実施できたため、個性あふれる短歌が多く詠み出され、学年において独自表彰した。短歌づくりは体験を各々の言葉で形にする活動であるため、取り組みやすく、新入生も楽しんで岩高短歌を詠み始めることができた。コロナ感染症のことを詠む生徒も多く、日常を言葉に落とし込む体験が見られた。行事の制限はあったが、季節の題に沿った短歌が各々の創意工夫で詠まれた。さらに、表彰として「前期賞」「中期賞」「後期賞」を新設し、全校集会で表彰するなど、生徒への周知と活動のさらなる推進ができています。

(2) 課題 今年度は、昨年度実施できなかった文化祭等や修学旅行等の行事を実施できたことで多く学校場面での短歌を詠むことができた。例年通り教職員も短歌を詠み、全生徒・全職員で短歌集を完成させることができた。今後も紙媒体・対面にこだわらず、オンライン等も活用して実施することで「いつでも」「どこでも」「すぐに」感じたことを短歌に落とし込むことを実践していかなければいけない。また、伝統ある活動でもあることから、家庭への参加協力を得ることも学校と家庭をつなぐ新たな取り組みでもあらうと感じる。いずれも次年度以降の前向きな課題である。

## 6. 補助資料

### 【月間優秀作品】

○4月のお題:「春のもの」・「通学路」・「ありがとう」

『芽を出した春風と共に新緑の春の味覚自然の恵み』

○5月のお題:「動物」・「リボン」・「ネクタイ」・「食べもの」

『リボン取り靡くスカートスーツへ変わる歩き出すのだ自分の道を』

○6月のお題:「ガラス」・「ため息」・「花」

『梅雨来たる雨がガラスに反射して沈んだ心照らすプリズム』【岩高短歌前期賞】

○7,8月のお題:「夏のもの」・「水」・「体育祭」

『群青の空で響くはせみの歌風の伴奏指揮者は私』【岩高短歌中期賞】

○9月のお題:「宇宙」・「ひそかに」・「オリンピック」・「パラリンピック」

『万華鏡のぞけば光る輝きが筒の中にみえた小さな宇宙』

○10月のお題:「秋のもの」・「乗り物を詠み込む」・「岩高祭」・「就職・入試(3年生のみ)」

『道端に色鮮やかに咲く曼珠沙華情熱の炎胸にとどめて』

○11月のお題:「マラソン」・「ワクチン」・「冬のもの」・「無」

『夜の深さ体感させぬ月明かり身も心も透かされていく』【岩高短歌後期賞】

### 【校外コンクール入賞作品】

第18回宮城県高等学校文芸コンクール 短歌部門・入賞

『体育祭一日かぎりの美容師が私の髪を装飾していく』

### 【岩高短歌～ワタシタチノウタ～ 短歌集掲載数】(2月1日時点)

生徒:443歌 教職員:78歌 外部入賞作品:1首 参加人数:191名

### 【岩高短歌集送付先】

管内小学校,管内各中学校,教育事務所,国立国会図書館ほか県内外図書館,本校を支える方々,岩出山各官公庁,各施設,旧職員

